

目標達成計画

作成日: 平成24年1月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	会話は流暢でも、中々言葉には表せない「思い」等について、ゆっくり聞き出すための取り組みは行われているか、十分に配慮されているかなど、職員が振り返る機会もきたいしたい	入居者の思いや行動などを満足して頂けるものにする。	1、入居時やサービス担当者会議時にご本人の生活暦や思いを十分に聞く2、担当者は情報から個別ケアを検討しサービス計画に反映し本人の思いを振り返る機会を持つ3、サービス計画変更や見直し時期には適切な対応が出来ているか等十分に話し合う場を作る。	1ヶ月
2	3	毎回の意見交流は、ホームの課題や地域の課題など、テーマを決めることで、より効果的な委員会の成果に繋がると期待されている。また、今後は全家族が交互に参加できるように呼びかけていく計画があり、更に相互の理解が深まると思われる。	1、運営推進委員会が充実したものにする 2、ホームからの開催月テーマを事前に決める3、ご家族のより多くの参加	1、運営推進委員会の集まりではテーマを決めて、会の発展を図る。次回のテーマをホームと出席して頂いている人から出して頂き、地域の人との関わり、ホームの役目などでも理解が深まるものとする。 2、ご家族の参加も交互に呼びかける	2ヶ月
3	7	アンケート実施前にその目的や、その後の活用方法を職員に十分に説明し、積極的な意見を促すことで、職員は安心して思いや意見を出しやすくなり、アンケートの効果的な活用も期待できると思われる。	仕事への熱意、意識効果を増やす	1、職員・少数意見でも充分検討し今後の改善に繋ぐ 2、経営者管理者・意見が出たことに対する回答を十分に検討して改善を図る 3、アンケート調査の場合にも事前に十分な説明を行い実施する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。